

救急搬送支援システム運用についてのお知らせ

名西消防組合では、令和4年11月1日より救急活動向上を図るため救急搬送支援システムの運用を開始しました。

従来は、救急隊が医師に対し、傷病者の受け入れの要請連絡を電話で行っていましたが、救急搬送支援システムは、タブレット端末を用いることで、救急隊が入力した情報や写真を医師と情報共有され、医療機関へ一斉照会等を行うことにより、受け入れ決定時間の短縮、早期搬送に繋がると期待されているものです。

また本システムは、徳島県下の消防及び医療機関において導入されているもので、病院の空床状況や待機する専門科医を把握することができ、受け入れ困難事案の低減に繋がると考えられています。

このことから、救急隊が現場活動中にタブレット端末で写真を撮影することがあります。これは、医師に情報を伝えるためのみに使用するものとなりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

